

【開発の経緯】

はじめまして。StandardBrushの開発者です。

今から20年も前の話です。鼻水が酷く、何を食べても美味しくもないし、付きまとう倦怠感。どうにかならないものかと、このときは自棄になっていました。湯船に桶を浮かべて鼻水を全て出し切ってやろうと思い、狂ったように永遠と鼻をかんでいた際、ふと、ついでに鼻の中も綺麗に洗ってみてはどうかと思ったのです。30分くらい掛けて念入りにその作業を続けていたところ、鼻水の勢いは次第に弱まり、そして本当に久しぶりに新鮮な空気を鼻から吸引することが出来たのです。鼻の中は磨き込まれた皿のように、鼻の中に指を挿入するとキュキュッと音がするほどの状態に仕上がっていました。それは非常に爽快で、それ以来、時間を掛けて鼻を洗う習慣が続きました。

自然に、私は鼻孔を洗うことに対して研究をするようになっていました。鼻孔を洗えば、花粉やハウスダスト、雑菌なども除くことが出来ます。そして、大変スッキリする。多くの人にこの方法を知ってもらいたいと思いました。しかし、これを素手でやろうすれば粘性の鼻水が邪魔をして30分以上も時間を要してしまう。とても現実的ではない。大きな課題でした。そして、時間だけが空しく経過しました。

そして、時間は流れ、私の愛猫が鼻水が酷く呼吸も苦しそうになりました。「ゼーゼーゼー」..。動物病院には4~5件診せましたが効果はありません。小さい専用のブラシを作って鼻を洗ってあげるようになりました。猫専用のブラシは50本は作ったと思います。そして、愛猫が腎不全で亡くなりました。この猫は子供のいない私には我が子同然だったのです。最後の3週間は仕事もやめて付きっきりで愛猫の看病をしました。少しでも楽になるように鼻のお掃除をしました。点滴を人肌に温めて、体を優しく優しく丁寧に揉みほぐしたり、トイレの世話をしたり、最後に尽くせたこと、本当に幸福な時間でした。そして、その時に考えました。いつか、我が子と同じく、多くの動物たちが楽になれるようなブラシを作りたい。動物たちを救いたい。その為には先ず、人に役立つことから始めてみよう。愛猫の死を受け入れることは中々できませんでしたが、この思いは生前の消えかかる小さい命に約束したことです。少しずつコツコツ進めて参りました。

その後は多くの運命的な出会いがありました。どうも愛猫が私を導いてくれているように感じています。そして、ついに専用のブラシが完成しました。粘性鼻水ごと異物を2分で洗浄でき、肌にも大変優しいブラシです。優しい思いからつくられました。このブラシは僕のミータ君が困っている皆様のために作ってくれたブラシです。愛猫君の愛情を感じてくれると大変うれしく思います。

優しさをありがとう。ミータ君。いつまでも愛しているよ。



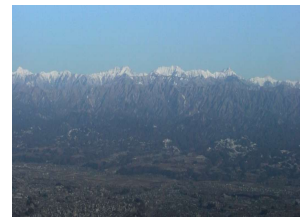
【事業者紹介】

開発者は神奈川県藤沢市で育ちました。海のある環境で大変気に入っています。そして此処、藤沢も御多分に漏れず、毎年花粉は酷いです。私の周りには花粉症罹患者がいっぱいです。必要は発明の母。そして、このブラシは生まれました。



この形状のブラシは大阪で生まれました。それを鼻腔内専用に魔改造してくれた、私の我儘にとことん向き合ってくれた優しい企業は大阪府堺市にある有限会社ビバテックさん。私の猫談を受け止めてくれてOEMを引き受けてくれました。最初は断るつもりだったと後日談で訊きました。熱意が伝わったのですね。ここ大阪は歯ブラシ生産のメッカです。

製品を丹精込めて丁寧につくって頂いている工場は長野県にあります。南アルプスがそびえる盆地に所在し、近くにはきれいな川が流れています。この社長さんは朝の3時半頃起きて、農作業をしてから出勤します。趣味で無農薬、低農薬の農作物をつくっています。私にもそのうれしい恩恵があります。素朴で実直で優しい。そんな社長さんです。



工場は現代的で非常にきれいに整備されています。

